

平成19年秋のコナジラミ類の府内発生分布状況について

平成19年9月26日から10月26日にかけて府内のコナジラミ類の発生分布について調査したところ、以下の結果でした。

- (1) タバココナジラミ類は、オンシツコナジラミとの混発を含めて調査したほ場全体の47.3% (表1参照) で発生が認められた。
- (2) 今回の調査では、京丹後市網野町でもタバココナジラミ類の発生が認められた。
- (3) トマト黄化葉巻病は、山城地域の2箇所が発生が認められた。
- (4) 山城地域のトマト及びナスで、オンシツコナジラミの多発によるすす病の被害が認められた。

今後、トマト黄化葉巻病の被害拡大が懸念されますので、巡回などを通じて農家への啓発を図るとともに、トマト黄化葉巻病の発生が疑われる場合には、防除所または最寄りの農業改良普及センターまで速やかに連絡してください。

なお、発生経過は表2のとおりです。

* 全ての表中のオンシツ：オンシツコナジラミ、タバコ：タバココナジラミを示す。

表1 府内のコナジラミ類の発生ほ場率

ほ場内訳(全体)	ほ場数	ほ場率(%)
発生なし	7	12.7
オンシツのみ	22	40.0
タバコのみ	16	29.1
オンシツ+タバコ	10	18.2
合計	55	

表2 コナジラミ類のこれまでの発生経過(発生ほ場率の推移) (%)

	山城地域				丹波・丹後地域			
	18年夏	18年秋	19年夏	19年秋	18年夏	18年秋	19年夏	19年秋
発生なし	35.3	0.0	51.7	3.3	83.3	39.1	71.0	26.1
オンシツのみ	11.8	9.5	13.8	30.0	16.7	30.4	3.2	52.2
タバコのみ	44.1	61.9	17.2	40.0	0.0	21.7	22.6	13.0
オンシツ+タバコ	8.8	28.6	17.2	26.7	0.0	8.7	3.2	8.7

* 他作物での発生も見られたが、ナス科とウリ科のみで集計した。